



LAN ケーブルテスター

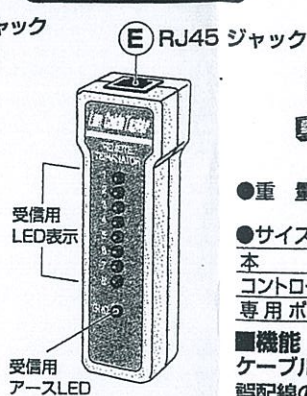
取扱説明書

品番 E-7501

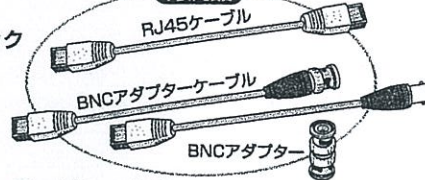
本体



リモートコントローラー



付属品



ソフトタイプ
専用ポーチ付
(布製)

●重量：本体……146g
コントローラー……40g

●サイズ

本 体 H120×W65×D32mm
コントローラー H100×W30×D28mm
専用ポーチ H165×W120×D50mm

■機能

ケーブルの接続・断線・ショート・誤配線の確認テスト

■対応ケーブル：

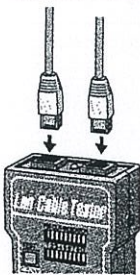
- 10BASE-T
- 10BASE-2
- RJ45/RJ11
- モジュラーケーブル
- 258A, TIA-568A/568B
- Token Ring

※アースもテストできます。

操作方法

■ループバックテスト

10BASE-T ケーブルテスト



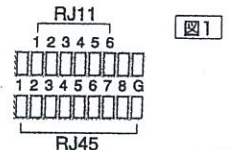
1. テストするケーブルの一方を(A)のRJジャック送信側に差し込み、もう一方を(B)の受信側に差し込みます。
2. 電源スイッチを入れ、(D)の自動/手動切替スイッチで、自動/手動を選びます。
3. LEDの上の部分に赤色光でスキャン表示されます。
[2で手動モードにした場合は、(C)のテストスイッチを押していきまます。]
4. 瞬時に下側のLEDに、スキャン結果が緑色光で表示されます。

●10BASE-T テスト表示 結果例

▶接続 ビン2は正しく接続されています。	▶断線 ビン2は断線しています。
▶ショート ビン2と3はショートしています。	▶誤配線 ビン2と6は誤配線されています。

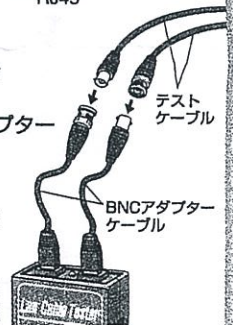
モジュラー ケーブルテスト

1. 10BASE-T ケーブルテストに準じて行ってください。
2. モジュラーケーブルのLED表示は図1のように読んでください。



10BASE-2 ケーブルテスト

1. 付属の2本のBNCアダプターケーブルを(A)(B)のRJ45ジャックに差し込んで、テストするケーブルの両端をBNCアダプターケーブルに接続してください。
2. その他の操作方は10BASE-Tケーブルテストの2~4をご参照ください。
3. BNCのセンターピンはLED表示では1番となり、BNCのシールドピンは2番となります。図2をご参照ください。

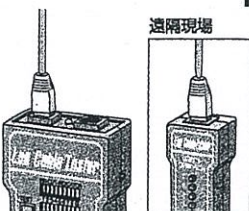


※10BASE-2ケーブルは2本ワイヤーのため、手動モードでスキャンされることをお勧めします。

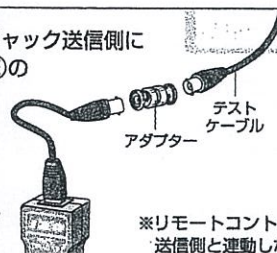


■遠隔テスト

1. テストするケーブルの一方を本体(A)のRJジャック送信側に差し込み、もう一方をリモートコントローラー(E)のRJジャック受信側に差し込みます。



ケーブルがすでにパッチパネルやウォールプレートに取付けられている場合は、アダプターを使用してください。



2. 1人でテストする場合はスイッチを自動にしてセットしてください。
3. リモートコントローラーのLED表示から結果を読み取ってください。

※リモートコントローラーのLED表示は本体の送信側と連動しながら継続的にスキャンします。

⚠ 注意

- ① 電池の容量が十分あることを確認してください(7V以上)。電池が少ないとLEDの光が弱くなったり、動かなくなったりし、正しい結果が得られません。
- ② 失敗して読めない場合は再度試みるか、自動モードにして結果が出るまでテストスイッチを押してください。

⚠ 警告

- テスターにダメージを与えますので、活線には使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は電池を外してください。

※品質改良のため予告なしに仕様変更する場合がございます。